

様々なお支援のおかげで文部科学大臣表彰をいただきました

養護教諭 野中 尚子

塩川中学校では、令和4年度・5年度、国立青少年教育振興機構と業務提携を行い「早寝早起き朝ごはん運動」に重点的に取り組んできました。この二年間は生徒自らが自分の生活をマネジメントする力を育成することを目指的に、睡眠教育・メディア教育・食育に力を入れて指導してまいりました。

その実績が評価され、今年2月、文部科学大臣表彰を受けました。これは学校だけでなく地域の方々のご支援があってこそのお賞です。取り組んできた内容を一部ご紹介します。

【主な取り組み】

(1) 生徒会が中心となって「塩中スマホルール」を決め、メディアとの向き合い方を考え、実践を呼びかけています。

(2) 自分でお弁当を作って持参する「マイランチデー」を設け、食に携わる姿勢を育んでいます。

(3) 生徒の心を育成し実践力を高めるための各種教育講演会

①「私が作るお弁当の日」 竹下和男氏 ②「基本的生活習慣が君たちの未来を決める」 川島隆太氏

③「食」で叶えた南極への夢 渡貫淳子氏 ④「A I ・ I T O時代の情報モラル」 目黒朋子氏

その他にも専門家を招いての保健授業や小学校と連携した「朝の具だくさんみそ汁週間」などにも取り組んできました。特に教育講演会は、同窓会様からも多大なるご支援をいただいたおかげで実現できたものです。講師陣は本来であれば本校単独では招聘できない一流の講師で、講演内容も本当に素晴らしいものばかりでした。講師からのメッセージも子どもたちの心にしっかりと届いたはずです。

基本的生活習慣の定着は、健康な心と身体を育成していくために必要不可欠であり、思春期の生徒たちにとってとても大切なものだと考えております。国立青少年教育機構からの支援を受けた取り組みは終わりましたが、これからも生徒たちの健康のために指導を継続してまいります。今後ともご協力とご支援をよろしくお願いします。



「早寝早起き朝ごはん運動」への取り組みは塩川中生の学力向上として結果に表れています。今年2月に福島県教育委員会から公表された「ふくしま学力調査 学力の伸びを引き出した学校の実践事例集 第4号」には学力の伸びが著しい学校の取り組みが紹介されていますが、そこに塩川中学校の取り組みが紹介されていました。

見えない支え

生徒会庶務 戸田 絢乃

私たちは今、学校でタブレットの使用は欠かせないものとなっています。総合では私たちの地元である会津のことを調べたり、自分のやりたい職業の情報を集めたり、今の社会情勢について調べるなど、多くの情報を検索しています。他の授業でも、例えば理科では、実験の結果を写真に撮ったり、それをクラスみんなで共有したりして授業を進めることができます。以前は、教科書やノート、タブレットを並べると、机の上が物でいっぱいになってしまっていて、タブレットを落としたりしないか心配で、思うように処理することができませんでした。そんな中、机の拡張板が入り、タブレットの落下の心配もなくなり、ストレスなく授業を進めることができるようになりました。この拡張板は同窓会より贈られたものだとのこと、本当にありがたいと思っています。

塩川中学校では、毎年5月の初めに陸上競技大会が開催されます。今年は生徒会のアイデアが実現し、新しい種目として、運動が苦手な人でも楽しめるような「綱引き」と「全力じゃんけん」を始めました。学校の行事を変えることは簡単なことではないと思います。毎年、10月頃から先生方が何度も話し合っているのだと聞きました。陸上大会の開催内容について生徒会に意見を求められた頃にはもう準備が始まっていて、先生方が私たちの希望を実現しようと動いてくださっていることが分かります。それは決して当たり前のことではなく、本当にありがたいことなのだと実感しています。先月からは、私が生徒会の立ち会い演説会で提案した「ハイタッチあいさつ運動」も開始しています。「さわやか塩中生」に向かってどんどん新しい活動をスタートすることができます。



ています。

このように私たちは今、見えないところで数多くの方に支えられて、塩川中学校でのびのびと学んでいます。



がんばれば道はひらける

ソフトテニス部女子部長 五十嵐 莉珠

私たちは全会津中体連、団体戦で第2位となり、県大会出場を決めました。最後の中体連、団体戦で賞をとることができて本当にうれしい気持ちでいっぱいです。

この結果を得るまでは簡単な道のりではありませんでした。団体戦はベスト4以上のチームが県大会に出場することができます。予選リーグの対戦相手は学鳳中やAWC+など強いチームが多くいましたが、一位通過を目指して戦いました。予選リーグは惜しくも二位通過。そのため、県大会を決める決勝トーナメントの第一試合は他のブロックの一位通過のチームと対戦することになりました。第一試合の対戦相手は坂下中。坂下中は、県の大会で三位になるような強豪校です。すぐ前の春季大会では優勝をしています。私たちは一度も勝ったことがなく、坂下中との対戦が決まった時は絶望的な気持ちでした。ですが、絶対に勝つ、負けないという強い気持ちで挑みました。一試合目は四対二で勝ち二試合目は一対四で負けてしまいました。勝負は三試合目で決まりました。四セット先取で勝ちでしたが、どちらも譲らず、三対三でファイナルゲーム。取っては取られ、両者一歩も譲らず、激戦の末勝つことができました。そして、チームも坂下中に勝利しました。部活やナイターなど皆でたくさん練習してきて本当によかったと思いました。

私たちは県大会出場という目標を達成することができました。今まで大変なこともありましたが、仲間と助け合い、たくさんの人々からのサポートを受けて挫けずにがんばってきました。ここまでがんばってこられたのは仲間や先生、コーチ、家族の支えがあったからです。支えてくれた人々に本当に感謝したいです。

この文章が印刷される頃には、県大会も終わっていると思います。私たちは最高の夏を迎えることができました。



塩川中の部活動は今年の全会津中体連で大活躍をし、ソフトボール部、バスケットボール部男子、ソフトテニス部男子、女子が県大会進出を果たしています。また、県大会出場は逃したものの、サッカー部と卓球部女子が3位に入賞しました。更に個人でも新体操、陸上、卓球、ソフトテニスなどで県大会に出場しております。

同窓会費 協賛金集金のお礼

昨年度に引き続き、「生徒用机拡張具」を購入し、寄贈いたしました。これで全学年の生徒にこの器具が配備されました。今後も同窓会ならではの形で塩川中学校の生徒を支援していきたいと考えています。

同窓会の活動は、地域の皆様、各地区議員の皆様をはじめ同窓会の皆様に支えられております。今後も塩川中学校の教育活動の充実を図るため、同窓会活動を推進していきたいと考えております。今年度も1世帯300円のご協力をお願いいたします。



塩川中ホームページのご案内

中学校の様子や行事、生徒の活躍など塩川中の最新情報は、<https://kitakata.fcs.ed.jp/>塩川中学校にアクセスして下さい。

編集後記

毎年、皆様に支えられている同窓会活動が、塩中生の様々な活動に生かされていることを会報を通じてお伝えします。講演会の共催、そして、昨年度に引き続き生徒用机拡張具の購入など、皆様のご支援で学校の教育環境等の充実してきていることに感謝申し上げます。

令和7年度 塩川中学校同窓会役員

本部役員一覧

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
顧問	手代木 洋次	会長	椿 芳侑	監査	栗村 潔	幹事	眞壁 輝章
顧問	林 健一郎	副会長(堂島地区)	小島 雄一	監査	東 條 千登勢	幹事	鈴木 芳和
顧問	吉田 滋喜	副会長(塩川地区)	蓮沼 絹一代	幹事	五十嵐 悦子	幹事	入岡 正雄
顧問	折笠 義則	副会長(姥堂地区)	手代木 洋一	幹事	入岡 勝江	会計	森 政行
顧問	湯浅 英明	副会長(駒形地区)	尾崎 重治	幹事	山口 明彦	会計	青木 春枝
顧問(校長)	五十嵐 清人	事務局長	稲田 憲二	幹事	角田 ちほ		

地区代議員一覧

地区名	代議員氏名	地区名	代議員氏名	地区名	代議員氏名	地区名	代議員氏名
1 区	佐藤 晃	深 沢	平塚 康成	大 木	加藤 伸治	源 太	一 国 喜代二
2 区	丸山 昭彦	田 中	物江 美緒	田 原	五十嵐 正信	反 田	白 井 智
3 区	筒井 弘	江 添	今井 祐一	新 尾 田	飯塚 則雄	新 井 田	星 利光
4 区	齋藤 治夫	金 森	小林 昭弘	能 力	大塚 尚志	上 利 根 川	戸 田 公吉
5 区	蓮沼 絹代	南 屋	須田 幸治	赤 星	大塚 則嘉	下 利 根 川	花 見 和彦
6 区	津田 健二	中 屋	鈴木 貞衛	貝 沼	三橋 利裕	高 木	入 岡 正
7 区	密村 正隆	西 常	穴 澤 利夫	三 堀	山口 光二	小 出	手代木 洋一
8 区	山田 善一郎	東 常	赤城 壽彦	沖	小島 久美子	谷 地	夏井 慶志
9 区	鈴木 豊	金 川	武田 信巳	第 六	吉田 重廣	中 ノ 目	斎藤 二巳
10 区	渡辺 めぐみ	松 崎	蒲生 勝巳	柴 城	館内 幸夫	宮 ノ 目	中 地 豊
11 区	関本 優作	上 原	栗村 良輔	万 力	山ノ内 壽太郎	橋本 前田	譲 矢 公直
12 区		中 道	木村 和弘	台	慶 徳 榮喜	別 府	入 岡 勝江
13 区	山崎 博喜	横 道	山口 和義	西 鑑 召	鈴木 正一	上 江	湯浅 英明
14 区	真渡 智史	刈 麻	今井 輝雄	東 鑑 召	大竹 功一	藤 ノ 木	中島 勝夫
御 殿 場	小淵 五男	馬 場 新 田	川井 清春	大 沢	江 花 喜代志	藤 ノ 木	渡 部 真一
紙 子	猪俣 興信	山 三	田 善浩	大 沢	江 花 一成		
唐 沢	折笠 義則	上 窪	内 海 洋司	上 遠 田	大須賀 昭一		
大 原	松本 栄一	下 窪	佐藤 弘之	上 遠 田	大竹 康夫		
竹 屋	邊見 敏美	館 ノ 内	木村 富實雄	下 遠 田	星 勝 則		

令和6年度 塩川中学校同窓会 会計決算報告

収入総額	975,965 円
支出総額	899,291 円
差引残額	76,674 円

収入の部

項 目	本年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	増減 (A-B) 減▲	付 記
繰越金	145,875	145,875	0	前年度繰越金
入会費	43,500	43,500	0	令和6年度卒業生 87 名×500 円
会費	648,200	600,000	48,200	1戸あたり 300 円 地区別協賛金を含む
雑収入	131	5	126	預金利息
繰入金	138,259	0	138,259	令和6年度特別会計より繰入 ・生徒用机拡張器具へ充当：108,259 円 ・一般会計へ充当：30,000 円
合計	975,965	789,380	186,585	

支出の部

項 目	本年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	増減 (A-B) 減▲	付 記
事務費	65,151	45,000	20,151	
事務費	41,237	15,000	26,237	振込手数料、硬貨手数料 領収書代、ラベルシール、封筒
会議費	0	5,000	▲ 5,000	
郵券費	23,914	25,000	▲ 1,086	往復葉書、切手、郵便代
事業費	784,140	620,000	164,140	
卒業記念品費	115,140	100,000	15,140	印鑑、証書ホルダー
講演会補助費	7,000	70,000	▲ 63,000	講演会謝礼品
後援活動費	486,000	250,000	236,000	生徒用机拡張器具108台
会報発行費	176,000	200,000	▲ 24,000	おらが塩中 (4,000 部)
積立金	50,000	50,000	0	特別会計へ積立
予備費	0	74,380	▲ 74,380	
合計	899,291	789,380	109,911	

差引残額 76,674 円は、次年度に繰り越します。

特別会計決算報告

令和6年度特別会計(周年行事積立)は、例年通り一般会計より50,000 円を繰入し、残高は 527,123 円となりました。一般会計と同日に監査を受け、適正であると認められました。

令和6年度事業報告

主催・共済事業	各種講演会開催(10月)	・的場亮氏講演会
物資等支援	活動等支援	・生徒用机天板拡張器具
その他	同窓会報発行(7月) 同窓会入会式(3月) 70周年記念事業の検討	・第19号発行 ・印鑑 証書ホルダー

令和7年度 塩川中学校同窓会 会計予算書

収入総額	719,774 円
支出総額	719,774 円
差引残額	0 円

収入の部

項 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A-B) 減▲	付 記
繰越金	76,674	145,875	▲ 69,201	前年度繰越金
入会費	43,000	43,500	▲ 500	令和7年度卒業生 86 名×500 円
会費	600,000	600,000	0	1戸あたり 300 円 地区別協賛金を含む
雑収入	100	5	95	預金利息
合計	719,774	789,380	▲ 69,606	

支出の部

項 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A-B) 減▲	付 記
事務費	72,000	45,000	27,000	
事務費	42,000	15,000	27,000	印刷用紙等、振込手数料、領収証代
会議費	5,000	5,000	0	研修会参加費等
郵券代	25,000	25,000	0	総会・代議員会・役員会案内等
事業費	540,000	620,000	▲ 80,000	
卒業記念品費	120,000	100,000	20,000	印鑑・卒業証書ホルダー
講演会補助費	50,000	70,000	▲ 20,000	倉塚祭 PTA・同窓会企画講演補助
後援活動費	170,000	250,000	▲ 80,000	環境設備投資 他
会報発行費	200,000	200,000	0	おらが塩中(4P)4000 部
積立金	80,000	50,000	30,000	特別会計へ入金 ・50,000 円(通常分) ・30,000 円(R6 追加繰出分)
予備費	27,774	74,380	▲ 46,606	
合計	719,774	789,380	▲ 69,606	

※項目間の流用は、会長に一任することとする。

令和7年度事業計画

主催・共済事業	各種講演会開催	・学校と共済で講演会を計画
物資等支援	活動等支援	・学校諸活動への支援
その他	同窓会報発行(8月) 同窓会入会式(3月) 70周年記念事業の検討	・第20号発行 ・印鑑 証書ホルダー

おらが塩中

第 20 号

発行 塩川中学校同窓会 令和7年8月2日

地域と連携し
地域に貢献する
さわやか塩中生の
育成をめざします



ごあいさつ

喜多方市立塩川中学校同窓会長 椿 芳侑

日頃より、地域の皆様には塩川中学校同窓会に対し、ご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

塩中生も3月には87名が学び舎を巣立ち、4月には新たに98名が入学され、また、転校生も加え生徒数は278名となり耶麻管内では最も多い生徒数とのことです。勉学にス

ポーツに頑張る姿が楽しみです。頑張れ塩中生。

塩川地域は東西に長く、西は平坦な田園地帯、東は雄国山麓の山々と自然に恵まれた地形です。そして歴史的な遺跡も多い土地です。そんな地域をこれからも大切に、塩中生が一時は離れても、又故郷に戻り地域に貢献してくれる事を願っています。

同窓会としては、地域と連携し、これからも塩中生を見守り、応援を継続していく所存です。変わらぬご支援をよろしくお願いします。

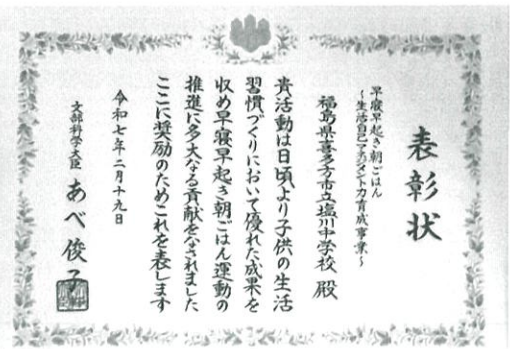


地域・塩川町との連携

喜多方市立塩川中学校長 五十嵐 清人

この4月より、歴史と伝統のある塩川中学校に勤務させていただいていること、大変ありがたく、また身の引き締まる思いです。本校の教育目標である「地域と連携し 地域に貢献する さわやか塩中生の育成」を目指し学校運営を行って参りたいと思います。

さて、昨年度2月には「早寝早起き朝ごはん運動」推進による文部科学大臣表彰を受けました。これは令和4年より塩川地区内の4つの小学校と連携して行った「生活自己マネジメント力の育成」の取り組みについて評価されたものです。今後もマイランチデーやスマホールールなどを継続し、生徒のよりよい生活習慣づくりに取り組んで参ります。引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



祝・文部科学大臣表彰!

同窓会入会式

3月10日(月)、卒業式予行終了後に同窓会会長椿様をはじめ、役員の方々をお迎えし、同窓会入会式が行われました。多くの卒業生の方、町内にお住まいで趣旨に賛同される方から、本校の教育活動を支援していただいております。今年度も、的場亮先生の講演会開催など、同窓会様のお力で実現したものです。

椿会長様からご挨拶をいただいた後、生徒を代表し、一簇柚花さんに卒業証書ホルダーと印鑑を授与され、石戸唯華さんが入会の言葉を述べました。

